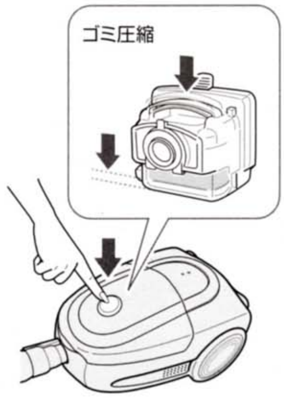
ご使用前に必ずお読みください

エアロサイクロンクリーナーは、紙パックを使わずにダストカップ内にゴミをためます。
ゴミの種類によっては、ゴミすてラインまでゴミがたまる前に吸込力が弱くなる場合があります。
このようなときは、ネットフィルター（フロント）とプリーツフィルターのお手入れをしてください。
吸込力を持続させるために、お掃除が終わったらこまめにゴミを捨てましょう。

ゴミ圧縮ボタンの使いかた

お掃除の前にゴミ圧縮ボタンを押すと、ネットフィルター（リアー）に付着したゴミをかき落とし、ダストカップの中のゴミが圧縮され、目づまりが改善されます。

- フィルターお手入れサインの赤が点灯したら、運転を止め、ゴミ圧縮ボタンを数回押してください。
- ゴミ圧縮ボタンを数回押しても吸込力が弱い場合は、ダストカップ、ネットフィルター（フロント）のゴミを捨て、プリーツフィルターのちり落としを行ってください。



お願い

- **本体運転中はゴミ圧縮ボタンは押さないでください。圧縮板にゴミがつまる原因になります。**

フィルターお手入れサイン

フィルターのお手入れ時期を「フィルターお手入れサイン」が点灯、点滅でお知らせします。

- **点灯なし**：目づまりしていません。
- 赤点灯 **赤点灯**：目づまりしてきました。
- 赤点滅 **赤点滅**：目づまりしています。お手入れしてください。



ダストカップ・フィルターのお手入れ

吸込力を持続させるために、月に1度を目安にネットフィルター（リアー、フロント）とプリーツフィルターはお手入れをしてください。（お手入れの頻度はゴミの種類や使用頻度により異なります）

ダストカップのゴミの取りかた

①吸込口のふたを開けて、ネットフィルター（フロント）についたゴミをティッシュペーパーなどで取りのぞく

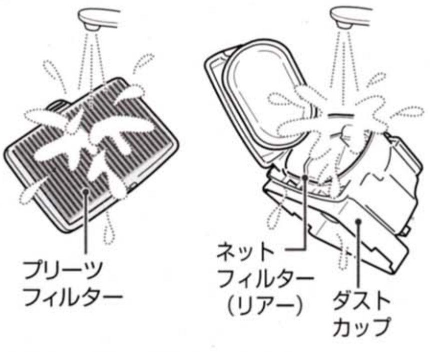
②フィルターのちり落としレバーを5回程度往復させる



水洗い

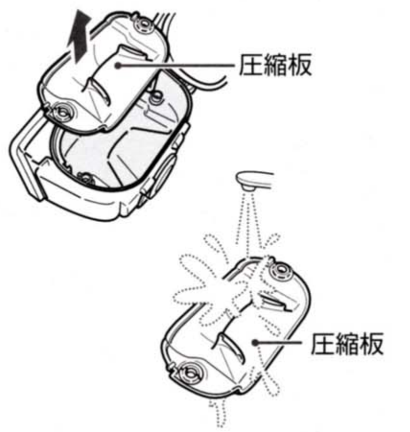
プリーツフィルター、ダストカップ、ネットフィルター（リアー）を水洗いする

- プリーツフィルターを広げながら洗ったり、容器に水をため、つけ置き洗いをするとゴミが落ちやすくなります。



圧縮板のお手入れ

圧縮板にゴミがつまったときは、圧縮板をはずして水洗いをする



お願い

- ネットフィルターは強く押さないでください。破損の原因になります。
- 水洗い後、プリーツフィルター・ネットフィルターにゴミが残ったまま乾燥しますと、臭いが発生することがあります。
- プリーツフィルターに付着したゴミが取れにくい場合は、古い歯ブラシ・綿棒などでお手入れしてください。
- 性能・品質を保証できませんので、洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったり、暖房器具、ドライヤーで乾かさないでください。
- 圧縮板を強く押して洗わないでください。破損の原因になります。
- お手入れ後は、必ず十分に乾燥させてからセットしてください。ぬれたままでご使用になると故障の原因になります。

新しいプリーツフィルターはお買い上げの販売店を通じて取りよせることができます。（有料）

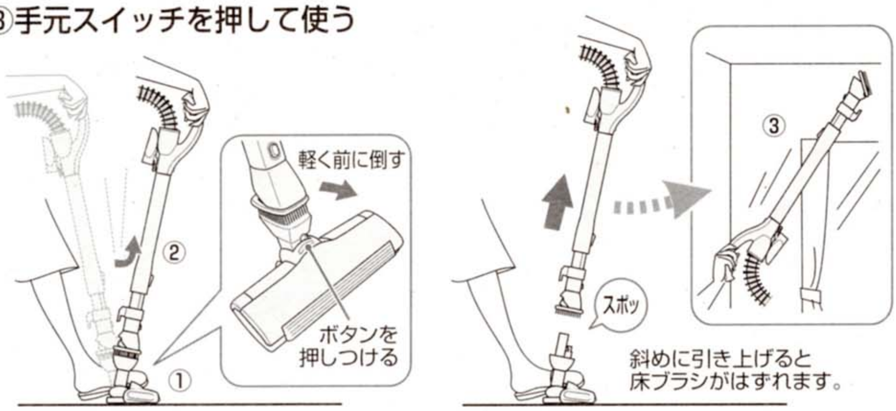
詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

（裏面もご覧ください）

ご使用前に必ずお読みください

ワンタッチどこでもブラシについて

① 切 を押して運転を止め、床ブラシを足で軽く押さえる
②延長管を前に倒しながら、グリップを上に引き上げてはずす
③手元スイッチを押して使う



お願い
- 運転中は、床ブラシの着脱をしないでください。
- 無理に延長管を前に倒さないでください。故障の原因になります。
- ワンタッチどこでもブラシは水洗いできません。

- 床ブラシは、ボタンを押して手ではずすこともできます。



- ワンタッチどこでもブラシは、ホース先端に差し込んでも使えます。



お手入れ

すき間ノズルでブラシ毛についたゴミを取りのぞく





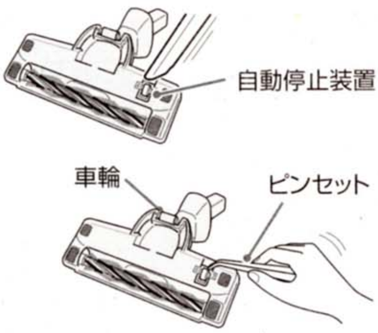
お願い
- ワンタッチどこでもブラシは水洗いしないでください。

床ブラシのお手入れ

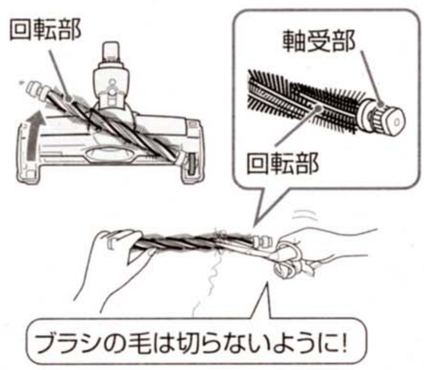
週1～2度、お掃除の最後にお手入れしてください。
回転部にゴミがからみつくと、回転部が回らなくなります。

回転部のお手入れ

①自動停止装置にからみついたゴミ、車輪のまわりに入ったゴミを吸い取り、ピンセットで取りのぞく



②回転部に糸くずや毛・ペット毛などがからみついたときは、はさみで切り取りのぞく



水洗い

回転部、お手入れカバーを水で洗い、陰干しして十分に乾燥させる



お願い
- ゴミがたまったままお使いになると**車輪が回らず、床、たたみを傷つける**ことがあります。
- 回転部、お手入れカバー以外は水洗いしないでください。故障の原因になります。

詳しくは、取扱説明書をご覧ください。